



学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



おれんじ学級の畑

やさしさで笑顔明るい泰平小

昨年度 児童会スローガン



校長 戸野塚 晃

早々と台風情報が日本列島を駆け抜け、メディアから流されるニュースに一喜一憂した1週間だったのではないのでしょうか。「今年一番の雨量となります」というワードも何度となく耳にした気がします。こういったニュースの今年一番というモノが、そう何度も訪れたら困りますが、そうはいつでも、自然災害の凄さはここ数年で何度も味わってきています。一人ひとりが準備を怠らず、自分たちの命は自分たちで守る意識をしっかりともってほしいものです。

さて、右の画像をご存じですか。これは4年前の「いじめ・自殺防止ポスターコンテスト」の最優秀賞の作品なのですが、丁寧にご覧いただきますと女性の髪や服に文字が書いてあるのがおわかりになりますか。この文字は、いじめの悪口が書いてあるんです。タイトル通りで、「遠くからじゃ分からない。もっとよく見て」といういじめの構図を見事に1枚のポスターにした作品です。私はこれを活用して、昨年度の同じ月の全校朝会で子どもたちに人権やいじめについて話をしました。あれからちょうど1年が経過しました。私からのメッセージが僅かでも伝わったのか、子どもたちの思いやりや優しさに少しでも影響を与えることができたのか、確認の意味も込めて、6月の全校朝会でまた、いじめと思いやりについて触れてみるつもりです。子どもたちの心の内に僅かでも優しさの種が蒔かれていたらうれしいです。

そして、今年度も「心豊かな児童の育成」を目指し、校舎内に設置されている大砂土デイサービスセンターの利用者の方々と児童との交流を始めています。昨年度の振り返りを活かしながら、お誕生日会を催したり、昔遊びで触れ合ったりと新たな取組を少しずつ増やしています。その中心となって進めているのが昨年度から発足した「ふれあい委員会」の子どもたちです。下の画像は、同委員会が主となり、新たな取組として始めた休み時間を利用した大砂土デイサービスセンターのみなさんとの交流の様子です。

思いやりのある豊かな心を育てるには授業だけでなく多くの教育活動で、他者と触れ合い、認め合い、温かな雰囲気の中で信頼関係が醸成されていく必要があります。そして、そういった体験で得た思いが、ご家庭でご家族と共有されることにより一層深みが増していきます。

6月からいじめ防止強化月間が始まります。取組の成果は日頃の教室での子ども同士の信頼関係、授業ごとの教師と児童の信頼関係、そして、子ども同士の豊かな関わり合いの構築の先に見えてくるものだと言えるでしょう。

泰平小学校職員一同は、一丸となって子どもが安心して通える学校づくりを目指します。子どもの思い、教師の思い、保護者の思いはみな同じです。「いじめ0の泰平小」へ・・・。

地域、保護者の皆様の引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



肩たたきの様子

手を取り合っでの会話